ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

シートNO.

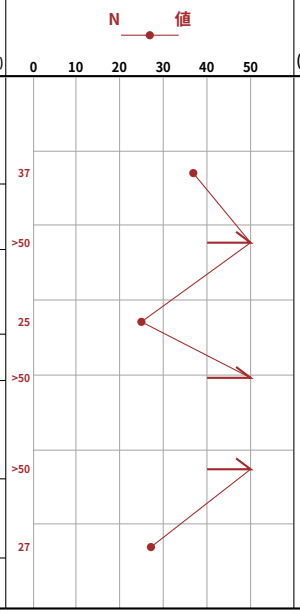
ボーリング名	No.3(0369A280)	調査位置						北　緯	37 ° 04 ' 47.0000 "
発 注 機 関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	2008-09-02 ～ 2008-09-05			東　経	139 ° 54 ' 07.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	656.88 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 35.00 °	使用機種	
総 掘 進 長	6.45 m								

試 錐 機		ハンマー落下用具	
エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	656.68	0.20	0.20		シルト (M)	黒褐			粘性,含水低位 やや有機質を呈す		
1	655.43	1.25	1.45		粘土混じり砂礫 (GS-C)	褐灰	密な		礫はφ20～75mm程度の凝灰岩質の亜角礫を主体とする 礫間は砂および粘土で充填されている		
2					転石混じり砂礫 (GS)	褐灰	中ぐらい		コア長L=5～15cm(推定φ100～φ500mm)程度の転石状の巨礫多く含む 基質部は粘土混じり砂礫でなり,若干の緩みがみられる 巨礫の多くは流紋岩質の凝灰岩,凝灰角礫岩が主体である		
3											
4											09/04
5											
6	650.43	5.00	6.45								09/05

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値
1.15	10	10	17	37／30	37
1.45					
2.15	12	38／7		50／17	>50
2.32					
3.15	9	8	8	25／30	25
3.45	50／7			50／7	
4.00					>50
4.07					
5.15	11	23	16／5	50／25	>50
5.40					
6.15	10	7	10	27／30	27
6.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日